

教育委員会定例会会議録

1 日 時 令和4年9月27日(火) 午後2時30分～午後3時45分

2 場 所 伊東市役所高層棟5階中会議室

3 出席者 1番 高橋 雄幸君 2番 村上 恵宏君

3番 沼田 芳美君 4番 遠山 泰範君

5番 辻 恵君

4 参 与 教育部長 岸 弘美 次長兼教育総務課長 相澤 和夫

教育指導課長 関野 耕一 幼児教育課長 山下 匡弘

生涯学習課長 杉山 宏生

5 事務局 教育総務課課長補佐 太田 靖久 主事 松岡 翔太

6 会議の経過

高橋教育長：ただ今から伊東市教育委員会9月定例会を開会する。議事に先立ち事務局から報告を行う。

(事務局から出欠報告及び資料確認)

高橋教育長：それでは議事に入る。始めに、教育長報告を行う。9月定例会教育長報告事項について、主な内容のみ説明を行う。

8月28日 オレンジビーチプロレス招待

29日 静東教育事務所所長来庁

30日 議会本会議、教育長辞令交付式

9月 1日 伊東市総合防災訓練(富戸小)、議会一般質問通告

2日 議会大綱質疑通告

7日 議会(大綱質疑)、市教育機関職員試験委員会

8日 議会(大綱質疑)、タウンミーティング(新井)

9日 議会(一般質問)

- 1 2 日 議会（一般質問）
- 1 3 日 議会（一般質問）
- 1 4 日 議会（議案審議）
- 1 5 日 議会福祉文教委員会、タウンミーティング（松原）
- 2 1 日 学校事務職統括室長来庁
- 2 2 日 中学校体育祭見学、市職員人事異動内示、
タウンミーティング（赤沢）
- 2 5 日 全国公募千字文大会表彰式
- 2 6 日 南中学校水泳部市長表敬訪問
- 2 7 日 教育委員会定例会、タウンミーティング（川奈）
本の寄贈式（大池小卒業の子どもの保護者より）

以上で報告を終わるが、何か意見・質問はあるか。

（意見・質問なし）

高橋教育長：それでは、各委員からの報告をお願いします。

委員：門野中学校の体育祭の見学をさせていただいた。天気は午前後半からポツポツと雨が降り出し、午後からのトラック競技を早め、昼から応援合戦や大縄跳びをやった。その応援合戦で、地面が濡れている中、地べたに転がってやる応援も、ばたんと倒れて、濡れることを気にせずやっていた。すごく頑張っていて、すごいなと思いました。コロナもだいぶ収束してきたせいか、子どもたちも皆元気に笑顔で行っていた。保護者に聞いたら中学校によって制限が違うようだった。門野中は保護者が2人までということで、観客もそれなりに来ていた。最後、表彰式がグラウンドでできず、体育館でやったが、臨機応変に対応していたと思う。子どもたちが本当に生き生きとした姿を見ることができて、良かったと思う。

委員：対島中学校の体育祭に行かせていただいた。すごく楽しそうで、いい顔をして取り組んでおられた。私は仕事があって全部は見られなかったが、学年に応じて、体格や雰囲気が違うと感じた。対島中は前日に文化祭もやるのですね。校長先生と話をして、一気に盛り上がる部分もあれば、準備が大変だという話も聞いた。合唱コンクールも拝見したが、素晴らしかった。クラスがまとまって一つのことに取り組んだことが感じられる歌声で、とても感動した。また、スピーチコンテスト代表の発表もあった。1人の方は教科書の文章を、もう1人の方はオリジナル、ご自身のおじいさんと将来の仕事について語った話であった。その内容も素晴らしく、今は将来の仕事のことを考えられないが、おじいさんから話を聞いて、発見があったという話をスピーチしていた。生徒さん一人一人が一生懸命に考えながら生活をしているのだなと思った。

委員：私は北中、宇佐美中を拝見させていただいた。両校とも3年生はいろいろと制限がある中で、きちんとできたいい体育祭だったと思う。3年生が中心となって、下の学年を引っ張っていた。本当にいろいろなことが制限されてきた中で、最後にきちんとした体育祭ができて、よい思い出になったのではないと思う。学校では競技中はマスクを取っていいと指導していたと思うが、中には付けて走っている生徒さんもいた。両校の先生と話をするなかで、マスクを取れない取りたくないという生徒がいると聞いた。複雑だなという思いもあったが、皆さん元気に集中されており、良かったと思う。

委員：私は南中学校に行かせていただいた。午前中は雨が降らず、プログラム通りできた。午後から雨が降ったが、雨の中でやったようだ。南中学校は人数が多い為、コロナ対策を先生方が気を使ってやっていると感じた。当日は、濃厚接触者でお休みの方がいたようだ。応援席に子どもたちが集まり、応援席から整列をして、開会式をやっていた。いつもであれば行進があるので、P T A

会長さんとなんとかけじめがないよね、などと話をした。人数が多いということで、先生方も考えておられるようだった。保護者は各家庭1人で、PTA役員のお母さんたちが受付を作り、チェックをしていた。校長先生が、本当はこんなことはしたくないのだが、とおっしゃっておられた。競技は3年生の迫力が1番だった。最後の体育祭、一生懸命にやっている姿があった。コロナ禍で色々と行動を制限されてやってきていると思う。でも3年生の女の子が、今までで一番楽しい体育祭だと言っておられて、これはよかったなと思った。制限をされながらも、楽しく夢を持って取り組んでいたのだと思う。

高橋教育長：教育委員の皆さんに2年ぶり、初めての方もいらっしゃるが、見学していただき、本当に良かったと思う。他の行事を計画した時には、またご案内差し上げると思うが、ご支援いただければと思います。どこの学校もコロナ対策をしっかりと行っていると思った。ロープを張ったり、消毒液を置いたり、名簿をチェックしたり、コロナ禍でも子どもたちが一番活躍できる場ができてよかったと思う。

高橋教育長：他に報告はあるか。

(報告なし)

高橋教育長：それでは、議題に入る。始めに、その他「市議会9月定例会の報告について」を議題とする。

(岸教育部長から資料に沿って説明)

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：タブレット端末の関係、鈴木絢子議員から、ICTやGIGAスクール構想について、学級閉鎖になった場合、コロナが流行り始めた早い時期に、1人1台のタブレット端末がある、家でオンライン学習ができる状態でも、タブレット端末は重たいから持ち帰らない生徒さんがいらっしゃるとのことだ。今

後、市として、各家庭に通信環境が整っていない家庭もあると思うが、オンライン学習はどうしていくのか。

関野教育指導課長：現状、保護者から、持ち帰りの申請書を出した上で、持ち帰る状況になっているが、中には壊したら嫌だということで、出ていない家庭がある。富戸小学校あたりは100%申請が出ているが、中学校だと50から60%という学校もある。また、自宅にiPad等があり、調べ学習であえてタブレット端末は使わない家庭もある。今後、進め方として、タブレット端末を持ち帰らなければ、学級閉鎖中の簡単なやりとりもできないので、各家庭の通信環境や親からの申請書について解決していきたい。ICT教育部会を設置しているので、今年度中に状況調査をもう1度する予定でいる。そのところで通信関係も含め、やれる環境が整ったところで持ち帰りをできるところから始めたい。今後は必要に応じて使っていく。使い方については、ICTだけに頼らない方がいいという状況もあるので、有効性を見極めた上で行っていきたい。教育総務課でWi-Fiルーターを100個ほど買っている。だいたい90%以上の家庭が、Wi-Fi環境があるようなので、精査の中でルーターの使い方、お金の負担、全額市が負担するのか個人で負担するのか、話を進めている。いつからかは正確にいけないが前向きに進めている。

委員：他と比べて申し訳ないが、かなり遅れていると思う。確かに今パソコンやタブレット端末がある家庭も多いと思うが、ルーター支給を個人負担とするかという話もあったが、やはり子どもの学びは平等でなければならない。環境が整っていないから学べないということはあってはならない。一緒に学べるチャンスあげたい。そして、できれば家庭の負担にならないような感じで環境を整えられたらと思う。実際そういったご家庭も見たりしている。学びたいけれど学べないというのはかわいそうなので、そこをいい方向で進められたらと思

う。

高橋教育長：ICT教育推進については、本当に重要なことだと思っている。乗り越えるべき色々な問題はあると思うが、スピード感を持って取り組んでいきたい。劇的な時代の変化があり、ICTをきちんと使い、情報教育の推進をしなければならない時代だと思う。持ち帰りについても、親の一筆がなければ持ち帰れない状況だが、それを外す方向の議論も出ている。自由に持ち帰って勉強し、タブレット端末を使える環境をしっかりと整えていきたい。

高橋教育長：他に、何か意見・質問はあるか。

委員：関連する質問かもしれないが、佐藤周議員の東小学校のGIGAスクール構想下における調査研究事業に指定されたとあるが、具体的にはどういったことになるのか。

関野教育指導課長：県から県内数校が指定を受け、色々な研究をしている。東小学校は、今回GIGAスクール構想下における調査研究事業ということで、タブレット端末や電子黒板といった機器を、いかに有効活用して、良い教育ができるのかという研究を進めている。教科のこういった場面で、こういう使い方をすればいいという研究を進めている状況になる。11月に発表会を行い、伊東市内はもちろん、県内各市町から来られた方に、研究成果を発表し、今までやってきたことを還元するということになる。

高橋教育長：県下で4校、東部2校、西部2校、御殿場と東小が指定を受け、研究をして、県下に広げていこうということで、県の義務教育課が指定をしている。発表については、報道等もあると思うので、また見ていただければと思う。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：次に、その他「各課報告について」を議題とする。

相澤次長兼教育総務課長：まず、幼稚園教諭採用試験について報告する。８月２７日に第二次試験として個別面接を実施し、人物および幼稚園教諭として必要となる知識、能力について試験した。７人が受験して６人合格、１０月１日に第三次試験として、個別面接を実施する予定である。続いて、職員人事異動について報告する。

（相澤次長兼教育総務課長から資料に沿って説明）

関野教育指導課長：生徒指導について報告する。問題行動の概況については、８月は登校日数が少なかったため、大きな問題はありません。今後、２学期はネットトラブル等が中学校で多くなると思われるので、早期対応、ネットモラルの指導を中心に行っていきたい。それからいじめと不登校についても、大きな変化は見られなかった。体育祭がありましたが、そういった行事を通して登校意欲が出てくる場合と、燃え尽き症候群ではないが、不登校になる場合もあるので、より注意しなければならない。行事を活かして、学校生活を活かすという指導を学校にしてもらいたいと話している。

山下幼児教育課長：先ほど教育部長からも説明させていただいたが、補正予算により、１０月３日から市立幼稚園の給食が開始される。現状提供数としては、２３５人のうち２２５人から希望が出ている。１０月４日には新聞報道もあるかと思う。

杉山生涯学習課長：昨年、一昨年と中止になったオレンジビーチマラソンだが、今年度は１月１５日に実施したい。大会要項だが、昨年、一昨年は市内の方のみ１，０００人の申し込みを考えていたが、今年は従来通り、１０キロ、５キロ、２キロの計２，７００人を対象としたい。申し込み方法は、インターネットか電話で、申し込み期限は１１月１８日までとしている。

高橋教育長：ただいまの説明について、意見・質問はあるか。

委員：パソコンやタブレット端末の話で、児童生徒さんにネットモラルを伝えることも重要だが、今度、保護者側にも考え方やルールを伝えることが重要だと思う。学校から貸してもらったものには、ある程度セキュリティや制限がかかっているかと思う。家庭の環境については、多岐に渡り、難しいと思うが、共有、発信していただけたらありがたい。

関野教育指導課長：昨年度、今年度と文部科学省が情報モラルについて、タブレット端末の使い方、例えば、長時間見ないようにといった物を出しているケースはあるが、ご意見参考にさせていただき、例えば毎年4月にそういう冊子や通知を出すなど検討をしたい。

委員：インターネットでこういった制限をかけるのがいいかとか、その辺の部分、私個人的にも調べたいと思うが、そういった部分を教えていただけるとありがたい。

関野教育指導課長：補足ですが、学校にも情報担当の者がおり、コロナが落ち着いたところで、情報モラル関係の講師を呼んで、PTAなどで講演会を開くことも紹介できますので、そういったことも是非検討していただきたい。

委員：今の委員の補足だが、以前、PTA役員だったときに、専門職の方をお招きして、講義をしたことがある。依頼があれば、いつでも来ますよとのことだったので、学年にあった話、親にあった話などしていただいた。他の学校もやっていないようでしたら、専門職の方を活用した方がいいと思う。ネットトラブルは凄く多いと思う。知らない保護者の方もたくさんいらっしゃると思うので、こういう講義を多く取り入れたらいいと思う。

高橋教育長：そのところ、今後教育指導課で計画を立てていくような考えでよろしいか。

関野教育指導課長：携帯電話が流行り始めたころは、携帯電話会社を呼んで、各学校で講座等を実施していたが、一時に比べて、落ち着いてきている。定期的にやった方がいいということもありますので、情報が入りましたら、校長会やPTA連絡協議会と対応していけたらと思う。

委員：教育指導課の報告の不登校についてだが、行事等をきっかけに増えていくと書いてあり、先日の体育祭の時に校長先生が、体育祭は運動神経のいい子にとっては、素晴らしい場所、自信を持てる場所だが、反対に嫌だと言って不登校になる子がいると伺った。やはりそういったお子さんも多いのだろうか。

関野教育指導課長：人数をはっきりと把握はしていないが、私の経験から言っても、以前は行事をきっかけに登校を促そうとする風潮もあったが、今は本当に色々なお子さんいらっしゃる。運動会の人前で走ることが嫌なので、運動会だけは来たくないであるとか、団体演技に入ることが不安で不登校になるという子もいる。そういった状況を見極め、多少は無理をさせてでも自信をつけさせるということもありますし、逆にそこに無理させることで、不登校が長引くというケースもあるので、本当にケースバイケースかと思う。どこの学校でも少なからず、その集団の中に適用できないとか、運動が苦手だという声がある。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

高橋教育長：幼児教育課のデリバリー給食について、これ画期的なことになりまして、幼稚園のお弁当は、次、つまりは幼稚園の給食に繋がる事業で、子どもや親がどういった反応になるか楽しみにしているが、市民感覚で皆さんのところに届いている声はありますか。

委員：自分の子どもは幼稚園にいなくなってしまったので、そういった声は届いていないが、幼稚園に兄弟のいる方が知り合いでいるので、今度聞いてみようと思います。

高橋教育長：伊東市にとって初めての事業で、業者もプロポーザルで選考したが、アレルギー対応も含めて、いい形の事業にしなければと思っている。声がもし上がれば、教えていただきたい。まだスタート前なので、どういう反応があるかわからないが、改善すべきところは改善をしたいと考えている。色々な声を聞いていただけたらありがたい。

委員：幼稚園のデリバリー給食だが、小中学校では伊東の食材を使ったメニューが出されているかと思うが、この幼稚園のデリバリー給食でも、こういった地の食材は出されるのだろうか。食育はすごく大事だと思っていて、食事は命をいただくものだ。実際、小中学校の給食を見させていただくと、残食が多い。幼稚園生には、みんなが住んでいる所で育った野菜だよとか、分かりやすい食育を取り入れ、地物を使ったメニューが出されれば、いいなと思う。ぜひ献立も見てみたい。

山下幼児教育課長：地産地消について、提供業者さんにはお願いはしますが、500円という限られた予算がございまして、どこまで対応していただけるかは不透明である。食育については、それぞれ年齢にあった食育を実施していきたい。

委員：同じ件だが、今までお母さんがお弁当を作って、自分の好きな食べ物がいっぱい入っていた。だからとても食べやすかったのだと思うのだが、今度デリバリー給食になると、自分の嫌いなものが入り、味付けが変わり、食べにくかったりする子が出てくると思う。そうすると、それに対応できて、お腹が空いて、どんどん進む子もいれば、そういったことに敏感で食が進まない子も出てくると思う。その辺の子どもたちの様子は気になる。お母さんたちは嬉しいと思う。週2日、給食が出ることを待っている人が多いと思う。でも子どもたちは戸惑う子もいると思うので、きめ細かく、様子を見てあげられればいい

かなと思う。

山下幼児教育課長：嫌いなもの、いつもと違ったもの、色々と提供されるということだが、先ほど申し上げたとおり、選考は保護者2人、園長先生2人、保育園栄養士、幼稚園保健師、私でさせていただいた。選考では、食べやすさを多くの委員さんがポイントとして挙げておられた。また、残食もあるかと思うが、そこは召し上がったお弁当については、ご家庭に持ち帰ってもらって、どれだけ食べられたのか、食べられなかったのか確認していただくかと思っている。それで、最初は一口二口が、最後には完食できるようになったという経過を見ることもできるのではないかと思っている。アレルギーについては、アレルギー対応主要7品目については代替対応する。各園には通常食のお弁当と、アレルギー対応のお弁当、2種類の弁当が提供される仕組みとなっている。

委員：お弁当持ち帰えられるのは良いですね。子どもの様子がよく分かります。

高橋教育長：伊東の幼稚園でこういった反応があるのかも、見学していただきたいので、もしお時間があれば、1度幼稚園給食を見に行って、一緒に食べる機会を作っていただければと思う。改善すべきところはあると思うので、安心安全も含めて、きちんとやっていきたい。まず10月3日が初日ですので、注目していただき、市民の声を届けていただきたい。よろしくお願いいたします。

委員：スクールバスの件で、最近幼稚園の通園バスのニュースもあったかと思うが、市内の幼稚園保育園でスクールバスを使っている所はあるのか。また、小学生になればそんなに心配する必要があるかは分からないが、その辺のルールはどういった話になっているのか。

相澤次長兼教育総務課長：牧之原市の幼稚園バスの件が全国的に大きな話題となっている。今後、令和5年度からスクールバスを導入するが、一応バス事業者に委託する予定となっている。その業務契約の中で、バス運転手が必ず確認

をしていく。これは今、路線バスは法的に必ず行うとなっているが、牧之原市の場合は、民間なので、そういった事件になってしまったのかと思っている。また、詳細は未定だが、運航開始当初は子どもたちが落ち着かないこともあると思うので、バスの中にも人員を配置する形を考えている。その方にも確認をしてもらうなど、今考えている最中です。

高橋教育長：今、伊東市内は、保育園幼稚園でスクールバスをやっている所はないですね。

相澤次長兼教育総務課長：はい。

高橋教育長：現時点で通園バスはないが、これから今、スクールバスをやっていくので、安心安全については、きちんと整理をしてやっていきたい。牧之原の事件は本当に痛ましく、子どもに関わる仕事の中で、あってはならないことだと思っている。教育に携わる者として、もう一度しっかりと意識しないといけない問題だと強く感じた。

委員：市内の幼稚園で送迎をしている所はないが、教育長がおっしゃったように、人数確認は本当に怠っていけないことだと思う。今回のバスのことだけではなく、遠足に行ったときや、外に出たとき、人数確認は大事だということを、もう一度確認をして欲しい。3校統合のスクールバスも、年齢は違うが、本当に何が起こるのか分からず、人数も多くなるので、細やかな配慮をしていただきたい。先ほど、補助要員の話が出ていたが、ダブルチェックを徹底して欲しい。

高橋教育長：その他、何か意見・質問はあるか。

委員：先ほど、教育長から伊東小学校のPTAスケジュールをいただいた。色々スケジュール的なことを明確にしていきたいというお願いに対応していただき、とてもありがたかった。大きい組織になり、大変なことも出てくる

が、PTAの方も安心されたと思う。

高橋教育長：その他全般的に、何か意見・質問はあるか。

(意見・質問なし)

高橋教育長：今後の日程について確認する。

事務局：10月の定例会については、10月25日(火)午後2時30分を予定している。11月の定例会については、11月24日(木)を予定とする。

高橋教育長：以上で伊東市教育委員会9月定例会を終了する。

以上のとおり会議の次第を記録し、ここに署名する。

教育長 高橋 雄幸

委 員 村上 恵宏

書 記 松岡 翔太